



ものづくりの達人

かとう ちあき
加藤 智明 さん

金谷町在住の77歳。自動車関係の会社で車の開発に携わっていた経歴を持つ。定年退職後は、趣味で木のものづくりに情熱を注いでおり、今まで制作したものは名刺入れや家紋、干支の置物など多岐にわたる。



映像はこちら

木製ボディーの電気自動車に挑戦

「普段から好奇心を持って色んなものを見るんです」。年齢を感じさせないほど生き生きとした表情で話すのは、「木製ボディーの電気自動車」を制作したことで話題を集めている加藤さん。

2021年に、市内の公益財団法人「あすて」が制作した木製カローラの展示を見たことがきっかけで、「動く木製の車を作りたい」と思ったそうです。

制作過程は、ベースとなる超小型電気自動車を購入することから始まりました。外装は、1980年代に製造された「トヨタスポーツ800」をモデルに設計図を作製し、ボディーに使用する木材は、高校の同級生が営む製材所からヒノキの間伐材を調達することに。その後の木材の加工や組み立ては全てが手探りで、多くの時間を費やしたといいます。中でも「ヘッドライトやフロントグリルなどの顔の部分は、モデルに近づけるために試行錯誤の連続でした」と振り返ります。

また、木材は金属と違い劣化しやすい素材のため、耐久性を高めるコツを多くの人から情報収集したのだとか。「ものづくりは、ギブアンドテイクの世界。分からないときは、お互いに相手の技術を学ぶことが大切なんです」。そう語る加藤さんの情熱が詰まった木製ボディーの電気自動車は、1年と3か月を要して完成しました。ナンバーを取得し、公道を走ることができるといいます。

完成するまで、たゆめぬ努力を重ねた背景には「ものづくりのまち豊田市の将来を担う子どもたちに、自分の制作したものを見て、ものづくりに興味を持ってもらいたい」という思いもあります。

「新しいものを生み出すのはわくわくする」。そう語る加藤さんは、既に次なる制作に向け準備を進めているようです。どのようなものが完成するのか、今から楽しみです。



木材の加工や組み立てを行う作業場



モデルとした「トヨタスポーツ800」



細部までこだわりの詰まった完成品



Instagram
【とよた農産物ブランドくん】
豊田市の農産物情報を発信中！



豊田市公式COOKPAD
【豊田市のキッチン】では
過去の旬レシピも掲載！ ▶



今月の旬食材
さつまいも

比較的栽培しやすく、紅あずまやシルクスイートなど様々な品種が市内で栽培されています。冷蔵庫に入れずに日の当たらない所での保存がおすすめです。

今月のおすすめMENU
さつまいんごサラダ

カフェミックス

地産地食応援店「Cafe39's」の澤田さんに、
とよたのさつまいもを使った料理のレシピを教わりました。



POINT!

甘さを足したい場合は、はちみつを加えると良いと思います。お好みでクリームチーズを入れても。冷蔵庫で冷やしてから食べると美味しいです。

材料 (4~5人分)

さつまいも	300g ^ラ	塩	ひとつまみ
りんご	4分の1個	マヨネーズ	大さじ3
		好みのドライフルーツやナッツ	50g ^ラ

作り方

- 1 さつまいもを皮付きのまま1センチ角に切り、水に浸しておく
- 2 ドライフルーツ、ナッツを粗めに刻んでおく
- 3 リンゴを皮付きのまま1~2ミリ幅のいちょう切りにし、塩水にさらし、水気を切る
- 4 耐熱ボウルに①のさつまいもを入れ、ふんわりラップをかけ電子レンジ600ワットで3~5分加熱する(串が刺さるくらい柔らかくなるまで。大きさ・品種による)
- 5 ④に塩を振り、木べらなどで粗めに潰しながら混ぜる
- 6 マヨネーズや②のドライフルーツとナッツ、③のリンゴを入れよく混ぜたら完成

今月のシェフ

Cafe39's

さわだ みく
澤田 実来 さん



高町東山132-10

☎070・5332・2706

定休日/月曜日、第1・3・5火曜日

営業時間/午前8時~午後5時

